

2019年度 高度自動車科 3・4年次 教育課程

※ ( ) 国土交通省指定時間

教科・科目・時間			時期 分野	3年前期	3年後期	時期 分野	4年前期	4年後期
総時間 2400 (1800)			エンジン	エンジンの「燃焼・システム制御」について、現象を数値的に捉え構造・作動・制御を理解 科目 自動車原動機工学Ⅰ 自動車原動機工学Ⅱ 高度技術実習 授業時間数 学科 54 時間 実習 32 時間	「走る」「曲がる」「止まる」に関連する新機構等について、基礎技術からの変遷を踏まえ、構造・作動・制御を理解 FCV構造、整備上の注意、燃料電池原理を理解 TSSの制御、整備上の注意、エーミング作業の習得 12か月定期点検作業の反復練習 科目 自動車新技術Ⅰ・Ⅱ 車両通信工学 車両研究Ⅱ 授業時間数 学科 97 時間 実習 70 時間	車両点検 インターシッ トヨタ技術	定期点検整備項目の知識及び点検手順・作業要領・作業の必要性を修得 今まで修得した知識・技能を体験実習において実践 科目 車両点検整備 インターンシップ 授業時間数 実習 279 時間	トヨタサービス技術検定2級資格を取得 科目 トヨタ技術 授業時間数 実習 83 時間
学科計 765 (※を除き 280) 自動車工学 自動車整備 機器の構造・取扱い 自動車検査 自動車整備に関する法規 自動車概論※ サービスマネジメント※				シャシ			車両の「走る」「曲がる」「止まる」各装置の現象を数値的に捉え構造・作動・制御を理解 科目 シャシ工学 車両性能研究 授業時間数 学科 34 時間 実習 151 時間	ハイブリッド車や、直噴エンジン、車両安定制御のシステム及び制御を理解 自動車における「振動」「騒音」について、基礎的な知識・現象・発生のおしきみを理解 科目 自動車新技術Ⅰ・Ⅱ 車両通信工学 車両研究Ⅱ 授業時間数 学科 97 時間 実習 70 時間
実習計 695 (※を除き 465) 実務実習 実務実習計 770 (750) 体験実習 評価実習			新機構 振動騒音		ハイブリッド車の基本的な構造・作動・制御・故障診断の進め方を理解 振動騒音の基本的な知識を理解し、現象を数値的に捉える力を修得 科目 新技術実習Ⅰ 授業時間数 学科一時間 実習 77 時間	ハイブリッドや、直噴エンジン、車両安定制御のシステム及び制御を理解 自動車における「振動」「騒音」について、基礎的な知識・現象・発生のおしきみを理解 科目 新機構研究 新技術実習Ⅱ 授業時間数 学科一時間 実習 155 時間	国家1級知識	
実務実習 実務実習計 770 (750) 体験実習 評価実習				電子制御 整備技術	ホデー及びエンジン電装に用いられているシステムについて検証し、制御を理解 配線図を見て、制御の概要を把握 科目 電子制御システム 授業時間数 学科一時間 実習 77 時間			4年進級に向け「トヨタ検定2級の予習」を行い整備技術・知識を理解 科目 車両研究Ⅰ 授業時間数 学科一時間 実習 151 時間
実務実習 実務実習計 770 (750) 体験実習 評価実習			顧客対応		ビジネス基礎教養・顧客対応の基本を修得 内容 顧客対応Ⅰ 授業時間数 学科 50 時間 実習一時間	実践的なロールプレイングを実施し、サービス対応業務を修得 a i 2 1オペレーションシステムの使い方 内容 顧客対応Ⅱ 授業時間数 学科 32 時間 実習一時間	マネジメント	
実務実習 実務実習計 770 (750) 体験実習 評価実習				経営 マーケティング 環境・安全	トヨタサービスの考え方、販売店のマーケティング活動の事例を理解 内容 経営Ⅰ マーケティング 授業時間数 学科 65 時間 実習一時間			ケーススタディー分析を通じて、経営戦略の考え方を修得 環境保全・安全管理について理解 内容 経営Ⅱ 環境・安全 授業時間数 学科 40 時間 実習一時間
実務実習 実務実習計 770 (750) 体験実習 評価実習			その他の教育		教養 170 (0)			

